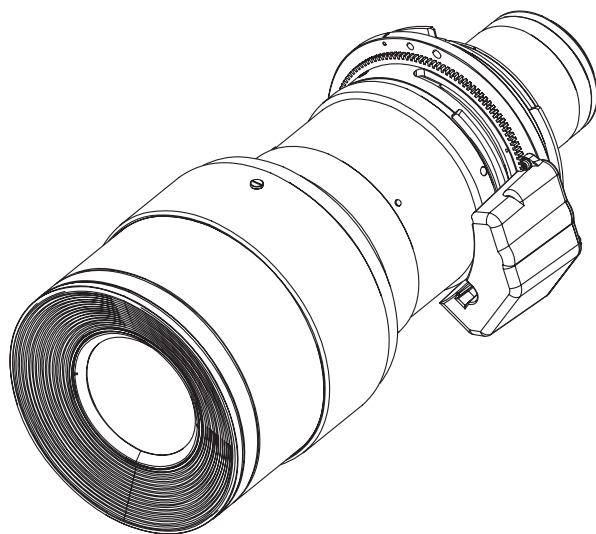


Panasonic®

取扱説明書

ズームレンズ **業務用**

品番 **ET-D3LEW300**



日本語

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- この「取扱説明書」とプロジェクターの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に“安全上のご注意” (👁 3 ページ) を必ずお読みください。
- この取扱説明書は大切に保管してください。

■ もくじ

安全上のご注意.....	3
ご使用になる前に.....	4
準備.....	5
投写レンズ交換の前に.....	5
取り付け方 / 取り外し方について.....	5
画面周辺フォーカス調整機能について.....	5
レンズキャリブレーションについて.....	5
投写関係.....	6
レンズシフト範囲について.....	9
仕様.....	11
外形寸法図.....	11
投写画面サイズと投写距離.....	Appendix / Annexe / 付録 1

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や程度を区分して、説明しています。

	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

	実行しなければならない内容です。		してはいけない内容です。
--	------------------	---	--------------



警告

	■使用中は投写レンズを絶対にのぞかない (投写レンズからは強い光がでます。中を直接のぞくと、目を痛める原因になります。) ⇒使用中に投写レンズまたはプロジェクター本体から離れる場合は主電源を切ってください。
	■レンズカバーを取り付けたまま投写しない (火災の原因になることがあります。)



注意

 電源プラグ を抜く	■投写レンズの交換を行う前に、必ず電源を切り電源プラグをコンセントから抜く (不意の投写による光で目を痛めることがあります。) (電源プラグを抜かずに交換作業を行うと、感電の原因になることがあります。)
	■投写中は投写レンズの前に立たない (投写レンズからは強い光がでます。投写レンズの前に立つと衣服を傷めたり、やけどの原因になることがあります。)
	■投写中は投写レンズの前にものを置かない (投写レンズからは強い光がでます。投写レンズの前にものを置くと、火災やものの破損、投写レンズまたはプロジェクター本体の故障の原因になることがあります。)
	■乾燥剤は、袋を開けたり、食べたりしない (中身を誤って口に入れると、身体に悪影響を及ぼします。) ⇒ 万一、目や口に入った場合、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。 ⇒ 特にお子様にはご注意ください。

ご使用になる前に

■ 対応するプロジェクター

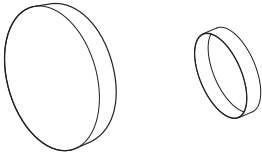
PT-RQ35K / PT-RZ34K / PT-RQ32K / PT-RZ31K / PT-RS30K / PT-RQ25K / PT-RZ24K / PT-RQ22K / PT-RZ21K / PT-RS20K / PT-RQ18K / PT-RZ17K / PT-RZ16K / PT-RZ14K

お知らせ

- 上記以外の機種についても対応している場合があります。ご使用のプロジェクターの取扱説明書または次のWEB サイトでご確認ください。
<https://connect.panasonic.com/jp-ja/projector>
- ご使用のプロジェクターが PT-RQ32K / PT-RZ31K / PT-RS30K / PT-RZ21K / PT-RS20K の場合、ファームウェアの [メインバージョン] によっては本投写レンズを使用できない場合があります。ファームウェアの [メインバージョン] が次に示すバージョン番号である場合は、最新のファームウェアにアップデートし
たうえでご使用ください。
 - PT-RQ32K / PT-RZ31K / PT-RS30K : ファームウェアのメインバージョンが 3.00 未満の場合
 - PT-RZ21K / PT-RS20K : ファームウェアのメインバージョンが 2.00 未満の場合アップデート手順については、次の WEB サイトのファームウェアに関する最新情報掲載先にアクセスして
ご確認ください。
<https://connect.panasonic.com/jp-ja/projector/pass>
- ファームウェアのメインバージョンは、[ステータス] 画面で確認できます。

■ 付属品

以下の付属品が入っていることを確認してください。

品名	外観
レンズカバー	 ● お買い上げ時は、製品本体に装着されています。 前後各 1 個

準備

投写レンズ交換の前に

投写レンズの交換や取り外しの際は、あらかじめレンズ位置をホームポジションに移動させておいてください。レンズ位置のホームポジションへの移動のしかたについては、プロジェクターの取扱説明書をご確認ください。

お願い

- 投写レンズの交換は、プロジェクター本体の電源を切ってから行ってください。
- 取り外した投写レンズは振動や衝撃を与えないように保管してください。
- 投写レンズの電気接点には指を触れないようにしてください。ほこりや汚れなどにより、接触不良の原因となることや、静電気によって部品が破壊されることがあります。
- レンズ面は素手でさわらないでください。レンズ面に指紋や汚れが付着すると、それらが拡大されてスクリーンに映り、美しい映像をご覧いただくための妨げとなります。また、プロジェクターを使用しないときは、本レンズに付属のレンズカバーを取り付けておいてください。
- レンズに堅いものを当てたり、レンズの前面を強くふいたりすると傷つくおそれがあります。取り扱いにはご注意ください。
- 投写レンズに付着したごみやほこりは、清潔なやわらかい乾いた布で拭き取ってください。
毛羽立った布、油分・水分を含んだ布、ほこりの付いた布で拭かないでください。レンズは傷つきやすいため、強くこすらないでください。

取り付け方 / 取り外し方について

投写レンズの取り付け方 / 取り外し方はそれぞれプロジェクターの取扱説明書をご覧ください。

画面周辺フォーカス調整機能について

投写画面サイズを変更すると、画面中央部と周辺のフォーカスのバランスがずれることがあります。スローレシオが小さくなるほど、このフォーカスバランスのずれが大きくなる傾向があります。

ET-D3LEW3000 には、投写画面中央部と周辺とのフォーカスバランスのずれを補正するための画面周辺フォーカス調整機能を備えています。

周辺フォーカス調整の手順については、プロジェクターの取扱説明書「投写する」をご覧ください。

レンズキャリブレーションについて

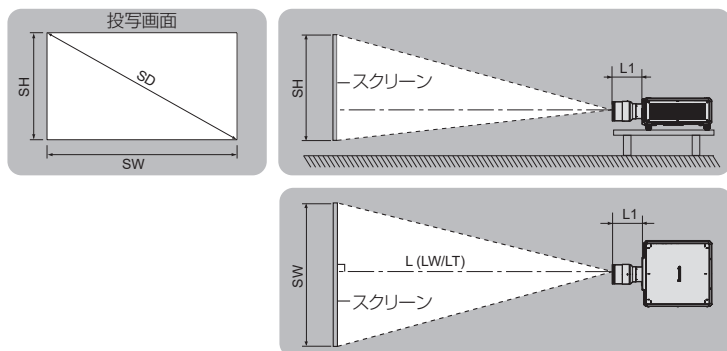
取り付け後にレンズキャリブレーションを実行してください。

レンズキャリブレーションの手順については、プロジェクターの取扱説明書「投写する」をご覧ください。

投写関係

スクリーンとプロジェクター間の投写関係寸法は下記のとおりです。

■ 投写関係寸法図



お知らせ

- このイラストは、投写画面のサイズと位置をスクリーンいっぱいに合わせることを前提に表現しています。
- このイラストは正確な縮尺ではありません。

L		投写距離
	LW	最短投写距離
	LT	最長投写距離
L1		レンズ突出寸法
SH		投写画面高さ
SW		投写画面幅
SD		投写画面サイズ

● L1 の寸法（概略値）

（単位：m）

プロジェクター品番	L1 の寸法（概略値）
PT-RQ35K / PT-RZ34K	0.273
PT-RQ32K / PT-RZ31K / PT-RS30K	0.242
PT-RQ25K / PT-RQ18K / PT-RZ24K / PT-RZ17K / PT-RZ14K	0.272
PT-RQ22K / PT-RZ21K / PT-RS20K / PT-RZ16K	0.270

お知らせ

- 本書内のプロジェクターのイラストはイメージです。製品によって形状が異なります。

お 願 い

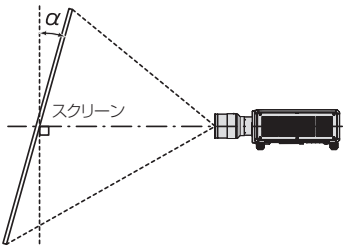
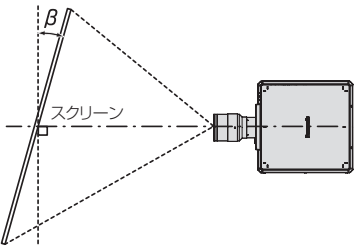
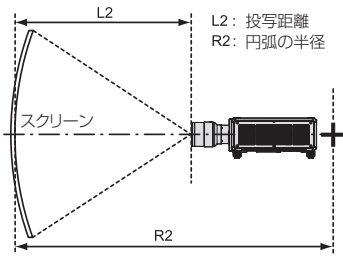
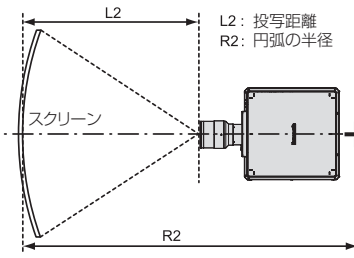
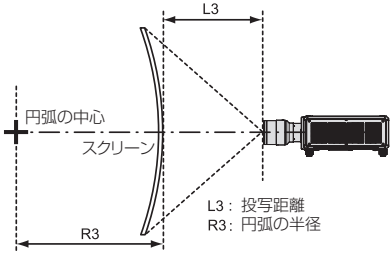
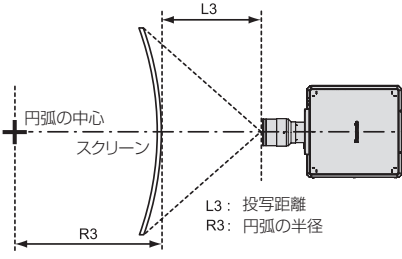
- 吸排気を妨げないよう、周辺の壁やものから十分に離して設置してください。プロジェクター本体から周辺の壁やものまでの必要距離については、ご使用のプロジェクターの取扱説明書でご確認ください。また、密閉した空間に設置する場合は、別途、空調設備、換気設備を設けてください。換気が不十分な場合、排気熱が滞留することで、プロジェクターの保護回路がはたらくことがあります。
- エアコンの吹き出し口や照明器具（スタジオ用ランプなど）の近くなど、温度変化が激しい場所には設置しないでください。

投写関係（つづき）

■ 投写関係寸法

投写距離（L）については、付録の“投写画面サイズと投写距離”または“投写距離計算式”をご参照ください。

■ 【幾何学歪補正】 による投写範囲

〔垂直台形補正〕（横から見たとき）	〔水平台形補正〕（真上から見たとき）
	
垂直弧の補正（横から見たとき）	水平弧の補正（真上から見たとき）
 L2: 投写距離 R2: 円弧の半径	 L2: 投写距離 R2: 円弧の半径
 L3: 投写距離 R3: 円弧の半径	 L3: 投写距離 R3: 円弧の半径

投写関係（つづき）

プロジェクター 品番	〔台形補正〕のみ		〔台形補正〕と〔曲面スクリーン補正〕の 併用時				〔曲面スクリーン補 正〕のみ	
	垂直台形 補正角 α (°)	水平台形 補正角 β (°)	垂直台形 補正角 α (°)	水平台形 補正角 β (°)	R2/L2 の 最小値	R3/L3 の 最小値	R2/L2 の 最小値	R3/L3 の 最小値
PT-RQ35K / PT-RZ34K / PT-RQ32K / PT-RZ31K / PT-RS30K / PT-RQ22K / PT-RZ21K / PT-RS20K / PT-RZ16K	± 15	± 5	—	—	—	—	—	—
PT-RQ25K / PT-RZ24K / PT-RQ18K / PT-RZ17K / PT-RZ14K	± 28	± 15	± 10	± 10	1.2	3.0	0.7	1.7

お知らせ

- 〔幾何学歪補正〕を使用した場合、補正量が大きくなるとフォーカスが画面全体では合わない場合があります。

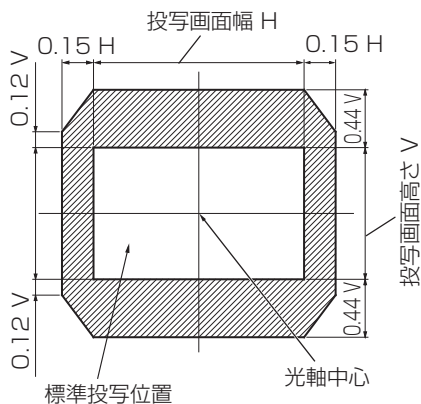
レンズシフト範囲について

レンズ位置の移動は調整範囲内で行ってください。

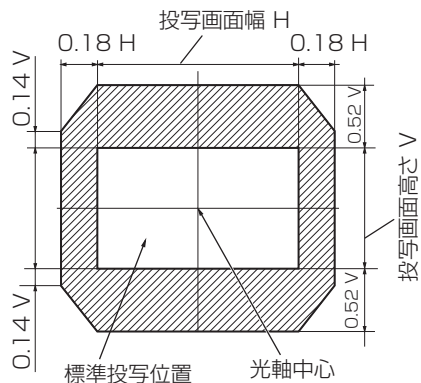
レンズシフト調整は、次のイラストで示す範囲内で行ってください。

調整範囲外へレンズを移動すると、フォーカスが変わる場合がありますのでご注意ください。このような動作になるのは、光学部品の保護のために、レンズの移動を規制しているためです。光軸シフト機能により、ホームポジションを基準にそれぞれの範囲で投写位置を調整できます。

PT-RQ35K /
PT-RZ34K /
PT-RZ31K /
PT-RZ21K /
PT-RZ16K

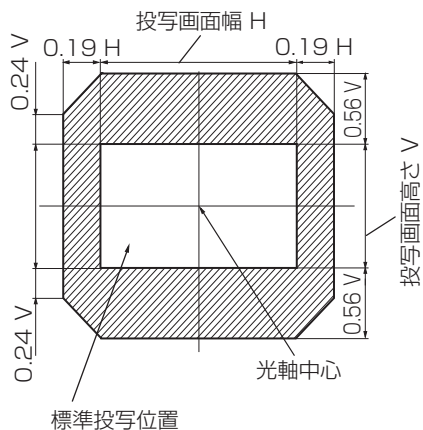


PT-RQ25K /
PT-RZ24K /
PT-RQ18K /
PT-RZ17K /
PT-RZ14K

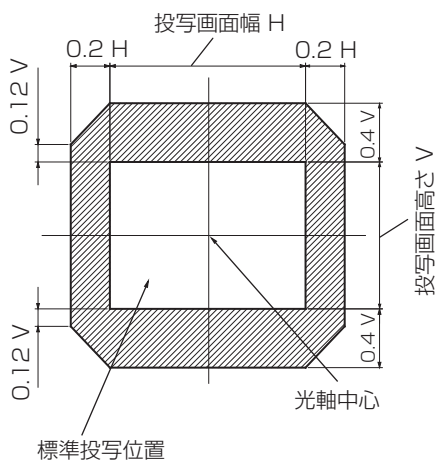


レンズシフト範囲について（つづき）

PT-RQ32K /
PT-RQ22K



PT-RS30K /
PT-RS20K



お知らせ

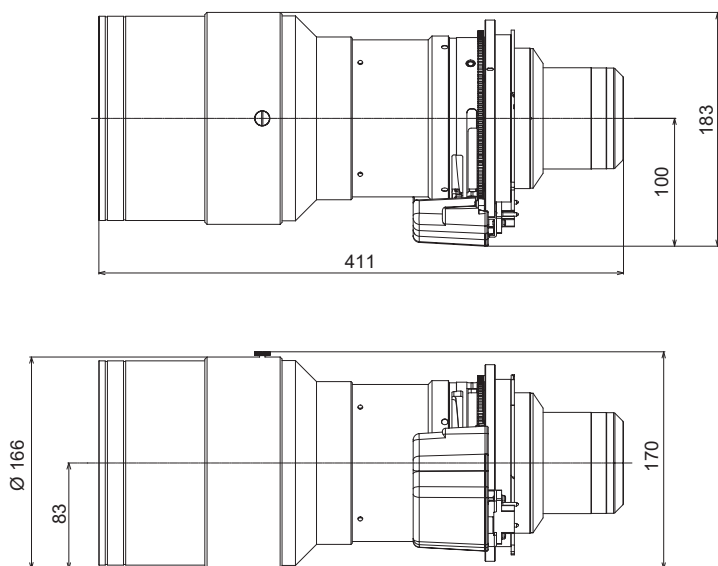
- プロジェクターのホームポジションは、レンズキャリブレーション結果に基づくレンズシフト（レンズの垂直位置と水平位置）の原点位置で、光学的な画面中央位置と一致するものではありません。

仕様

品番	ET-D3LEW300	
F 値	2.5	
焦点距離 (f)	16.36 mm ~ 19.63 mm	
対応スクリーンサイズ	70 インチ ~ 1 000 インチ	
外形寸法	横幅	183 mm
	高さ	170 mm
	奥行	411 mm
質量	約 8.0 kg	

外形寸法図

(単位 : mm)





このシンボルマークは、ヨーロッパ連合（EU）をはじめとするリサイクルシステムを備えた国にのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

中国域内での環境に関する情報



このシンボルマークは中国国内でのみ有効です。

パナソニック プロジェクター&ディスプレイ株式会社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 電話 ☎ 0120-872-601